

令和3年度 家庭科・技術（家庭分野） 年間指導計画【第3学年】

評価方法	①授業観察	②発言・発表	③家庭ノート
	④ワークシート	⑤作品	⑥宿題
	⑦定期考査	⑧製作カード	⑨提出物（家庭ノート・課題プリント）

令和3年度 3年1学期

学期	月	時数	単元	学習内容	評価基準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	4	4	私 た ち の 成 長 と 家 族 ・ 地 域	○幼児の生活と家族 ・ 幼い頃を振り返ろう <u>道：家族愛</u> <u>家庭生活の充実</u>	幼い頃を振り返り、周囲の人との関わり の大切さについて理解している。 ②④	幼児の成長は周囲の人との関わりや支 えのなかでは育まれたことを自分の成 長を振り返ることから理解し、幼児と幼 児の学習に対して関心をもって幼児の 心身の発達に応じたおもちゃや遊び方 について考え、工夫している。 ②④	幼児の成長は周囲の人との関わりや支 えのなかでは育まれたことを自分の成長 を振り返ることから理解し、幼児と幼児 の学習に対して関心をもち取り組もうと している。 ③
	5	2		・ 幼児の体の発達 <u>体：心身の機能と心</u> <u>理：生物の成長と生殖</u> ・ 幼児の心の発達	幼児の体の発育について、発達の方向 性や順序性ととも、個人差があるこ とを理解している。 ④⑦	幼児との遊びを通して幼児の心身の発 達に応じた関わり方を工夫している。 ④	幼児の心身の発達の特徴と生活について 理解し、幼児とのかかわり方を考え、取 組もうとしている。 ④
	6	2	<調理実習> 2年生分野 肉・魚・野菜の調理をしよう	肉・魚・野菜の調理上の性質や調理上の 性質や調理方法について理解してい る。 ④⑦ 肉・魚・野菜の調理上の性質を生かし、 手順や時間を考えて計画することがで きる。 ④ 安全と衛生に留意しながら適切な火加 減で肉・魚・野菜の調理が適切にでき る。 ①⑦	肉・魚・野菜の種類や部位に適した調理 方法（ゆでる、焼く、煮る、炒める、蒸 す）を考え工夫している。 ④⑦	肉・魚・野菜の調理に関心をもち、調理 技術を習得しようとしている。衛生や安 全に配慮しながら、仲間と協働して調理 に取り組もうとしている。 ①	

7	2		<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児との関わり方 ・ 幼児と触れ合おう ・ 幼稚園訪問 ・ 幼児との関わり方についてまとめる 	<p>幼児に合った接し方や遊び方を工夫し、触れ合う方法を考えて観察できる。 ④⑦</p> <p>幼児と適切に関わるために必要な知識を理解しているとともに、適切にできる。 ①④</p> <p>幼児との触れ合い体験を通して、幼児の発達や生活時間などの特徴について理解している。 ④⑦</p> <p>幼児の遊びや発達の特徴、接し方などについて整理することができる。 ④</p> <p>幼児と交流した実践の成果と課題についてまとめ、発表することができる。 ①④</p>	<p>幼児の心身の発達に応じた関わり方について、観察したことを生かして自分なりに考え工夫している。 ①</p> <p>幼児との触れ合い体験を通して学んだ幼児の特徴をまとめようと工夫している。 ④</p>	<p>幼児と触れ合う活動に向けて幼児に関心をもち、課題を設定して適切に取り組もうとしている。 ①④</p> <p>幼児と触れ合う活動を通して、幼児に関心を持ち、適切に関わろうとしている。 ①④</p>
---	---	--	---	--	---	--

学期	月	時数	単元	学習内容	評価規準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
2	9	7.5	私 たち の 成 長 と 家 族 ・ 地 域	<p><実習> おもちゃを作ってみよう</p>	<p>幼児の生活に役立つものの製作に必要な基礎的知識を理解している。⑦ 幼児のおもちゃを自分なりの工夫を加えた製作計画を立てることができる。⑧</p>	<p>幼児の心身の発達に応じたおもちゃや遊び方について考え、工夫している。⑤⑧</p>	<p>幼児の発達段階に応じたおもちゃの製作を通して、幼児の遊びに関心を持ち工夫し創造し、実践しようとしている。①④</p>
	10			<p>・幼児の生活習慣の習得について考えよう 基本的生活習慣の習得 社会的生活習慣の習得</p>	<p>幼児の生活習慣の形成の重要性と、それを支える家族の役割、基本的な信頼関係を築くことの大切さを理解している。③⑦ 幼児の生活習慣がどのように身についていくのか理解している。③⑦</p>		
	11			<p>生活習慣の習得を支える家族 道：節度・節制</p>	<p>幼児の生活習慣の習得を支える家族の役割について理解している。③⑦</p>	<p>基本的生活習慣や社会的な生活習慣獲得の意義を説明できる。②④</p>	<p>子どもの発達を理解し、子どもが育つ環境としての、家族や周囲のおとなの役割について説明しようとしている。②④</p>
	12			<p>・幼児の生活と遊び 幼児の1日 幼児の生活と食事</p>	<p>幼児にとっての遊びの意義について理解している。⑦ 幼児にとって、遊びは生活そのものであり、身体の発育や運動機能、言葉、情緒、社会性などの発達を促していることを理解している。③⑦</p>	<p>幼児の遊びの意義を踏まえ、幼児との関わり方を工夫している。②④ 幼児の遊びを豊かにする遊び道具や遊ぶ環境について考え工夫している。④</p>	<p>幼児の1日の生活を振り返り、幼児にとっての遊びの意義について考え、工夫しながら幼児との遊びで実践しようとしている。④</p>

学期	月	時数	単元	学習内容	評価規準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
3	1	2	私 た ち の 成 長 と 家 族 ・ 地 域	<ul style="list-style-type: none"> 遊び方の変化と遊びで育つ力 遊びを豊かにする物 幼児の遊び場所と安全 	<p>幼児のいろいろな遊びを観察し、遊びで育つ力について理解している。⑦</p> <p>幼児の遊びを豊かにする遊び道具と、遊ぶ環境について理解している。③⑦</p> <p>遊ぶ場所の環境が安全であることが大事だと理解ができる。③</p>	<p>幼児の心身の発達に応じたおもちゃや遊び方について考え、工夫している。④</p>	<p>幼児のいろいろな遊びを観察し、遊びで育つ力について考えようとしている。④</p> <p>幼児の成長に適した遊びや道具の観察をまとめて発表しようとしている。②④</p>
	2			<p>幼児のためのおやつを作ろう</p>	<p>おやつは食事の一部であることを理解し、栄養のバランスを考えることができる。③⑦</p>	<p>おやつの実習の中で課題を設定し、おやつ作りの計画を自分なりに工夫している。④</p>	<p>幼児の生活を振り返り、食生活をよりよくする方法について関心を持ち、おやつ作りの計画を立てて実践しようとしている。①④</p>
	3			<ul style="list-style-type: none"> 子どもにとって家族について 子どもと家族 家族との信頼関係 <p>○これからの私と家族</p> <ul style="list-style-type: none"> 中学生にとっての家族について <p>道：家族愛</p> <p>家庭生活の充実</p>	<p>子どもが育つ環境としての家族や周囲の人びとの役割を理解している。③⑦</p>	<p>幼児と家族や周囲の人びとの役割をまとめ発表することができる。②④</p> <p>家族とのかかわり方を振り返り、自分の家庭生活について課題を見つけ、家族関係をよりよくするために、できることを考え工夫している。②④</p> <p>中学生にとっての家族について考え、家族関係をよりよくするにはどのようにしていけばよいかを整理してまとめ、発表することができる。②④</p>	<p>家族や社会の役割の中で自分のできることを考え、家族関係をよりよくするためにできることを実践しようとしている。④</p> <p>家族を支える立場の一員として、家庭、地域、社会の中で自分にできることを考え、行動しようとしている。④</p>
			<p>私達と家族との関わり</p> <p>家族関係をよりよく</p> <p>これからの私たちと家族・地域</p> <p>道：社会参画、</p> <p>公共の精神</p>	<p>家庭や家族の基本的な機能、家庭生活と地域との関わりについて理解している。⑦</p> <p>高齢者など地域の人々と協働する必要があることや介護など高齢者とのかかわり方について理解している。③⑦</p>	<p>地域の人々とのかかわり、協働する方法について問題を見いだしている。④</p> <p>高齢者など地域の人々とのかかわり、協働する方法について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想している。②④</p>	<p>地域とのかかわりについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして生活を工夫し創造し実践しようとしている。④</p>	